

# 線状降水帯の予測精度向上により早期の防災対応に寄与

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

**概要** 要：線状降水帯の予測精度向上のため、線状降水帯に関する情報を段階的に改善。令和7年9月4日には、大分県・宮崎県に絞り込み線状降水帯の大雨の可能性を半日前から呼びかけ、防災対応の早期実施に寄与した。  
**対策名**：113 線状降水帯の予測精度向上等の防災気象情報の高度化対策<5か年加速化対策>【国土交通省】

■ 実施主体：気象庁

■ 実施場所：全国

■ 事業概要：

・水蒸気観測機器の整備や強化したスーパーコンピュータを活用した予測技術の開発等を進め、線状降水帯に関する情報を段階的に改善。令和6年には、線状降水帯による大雨の可能性の半日前からの呼びかけの対象地域を地方単位から府県単位に絞り込み。

・令和7年9月4日明け方発表の気象情報において大分・宮崎両県に絞り込んで呼びかけ実施。

■ 事業費：約223億円（令和6年度補正予算）  
 ※すべて5か年加速化対策（加速化・深化分）

■ 効果：

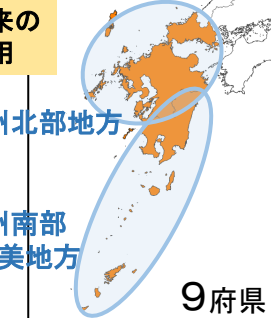
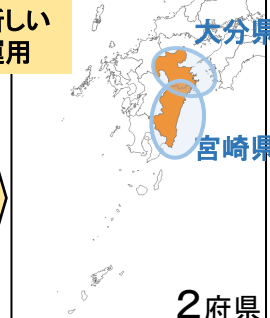
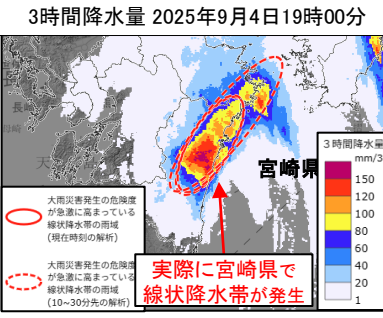
4日昼前には、大分・宮崎両地方気象台から防災関係機関への説明会で、線状降水帯による大雨の可能性を説明。実際に宮崎県では線状降水帯が発生し、大分県でも3時間雨量190mmの大雨。両県における関係機関の防災対応の早期実施に寄与。

## 線状降水帯に関する情報の改善

	半日前予測 半日程度前からの呼びかけ	直前予測 確度の高い直前の予測	発生情報
文章情報	令和4年 地方単位で予測 ↓ 令和6年 府県単位で発生を半日程度前に予測 ○○県では、○○から○○にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。	予定 令和8年 ○○県北部などの一次細分区域単位で線状降水帯となる2～3時間前を目標に予測 ○○県北部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害の危険度が非常に高まるおそれがあります。	令和3年 ○○県北部などの一次細分区域単位で線状降水帯の発生をお知らせ + 追加 令和5年 最大30分程度前倒し ○○県北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まっています。
図情報	予定 令和11年 線状降水帯発生による大雨の可能性が高い市町村を把握できる格子形式の分布図を表示※1 	予定 令和8年 線状降水帯となり、災害をもたらす大雨のおそれがある大まかな領域を2～3時間前を目標に図情報で表示 	令和3年 線状降水帯の雨域を楕円で表示 最大30分程度前倒しで解析した結果も楕円で表示（令和5年～） 「雨雲の動き」「今後の雨」に楕円を表示 

## 府県単位に絞り込んで発表した事例

・大分県、宮崎県に、半日程度前から線状降水帯の呼びかけを実施（令和7年9月）

<b>従来の運用</b>  9府県 呼びかけの対象地域 ※鹿児島県では奄美地方を区別して発表	<b>新しい運用</b>  2府県 呼びかけの対象地域	3時間降水量 2025年9月4日19時00分  3時間降水量 mm/3h 150, 120, 100, 80, 60, 40, 20, 1 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（現在時刻の解析） 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分先の解析） 実際に宮崎県で線状降水帯が発生
---	---	---